

2019年1月4日

株式会社幸楽苑ホールディングス

大晦日15時閉店でもラーメン事業好調維持！ 4ヶ月連続既存店客数前年比100%以上達成

幸楽苑ホールディングス(本社:福島県郡山市、代表取締役社長:新井田昇 ※以下 幸楽苑)は、各種施策の展開を実施、業績回復基調に転じ、4ヶ月連続既存店客数前年比 100%以上を達成いたしました。

■ 12月度既存店客数前年比について

月次情報でも発信しています通り、12月度においては、既存店客数前年比「112.6%」となりました。また、同客単価前年比は「97.5%」、結果として、同売上高前年比「109.8%」となりました。

■ 4ヶ月連続既存店客数前年比 100%クリア

幸楽苑は、2018年4月から『新幸楽苑』戦略とした「味の改革」「マーケティング手法の抜本的転換」「保有資産の活用と店舗ポートフォリオの最適化」「筋肉質な経営」の4本柱を着実に実践し、さらに昨年の11月21日(水)には「働き方改革」についての発表を行い、スタッフの士気向上を目的に、2018年12月31日(月)15時～2019年1月1日(火)終日の年末年始を、幸楽苑64年の歴史上初めて休業とさせていただきました。この年末年始の休業により、売上への影響も懸念されましたが、多くのお客様に支えていただき、12月も大幅な客数増につなげることができました。

これまで取組んでまいりました施策の結果、4～9月期の業績は回復し、9月からは4ヶ月連続既存店客数前年比も100%以上達成と好調な業績を維持しております。

2018年9月～12月直営店既存店の対前期比較

	9月	10月	11月	12月
客数前期比	105.8%	101.8%	105.4%	112.6%

■ 好調“新幸楽苑”を支える「極上中華そば」が1,000万食、「餃子『極』」は1,500万食を突破！

さらに、外食産業として力を注いできた「味の改革」について、象徴的な主力商品「極上中華そば」は、発売と同時に予想を大きく上回るペースでご注文を頂き、2018年年末には「鶏豚濃厚合わせダシ 極上中華そば」は1,000万食の販売数を突破、同時発売の「餃子『極』」は1,500万食の販売数の大台を突破しました。

以上

◀ 本件に関するお問い合わせ先 ▶

株式会社幸楽苑ホールディングス 広報マーケティング部 平松・安藤

電話：03-3526-7150 e-mail：kouhou@kourakuen.co.jp